

みどりの杜俳句会

晴れ渡りみどりの山の冬紅葉

佐山けさ子

前山の冬木の枝の先細し

木本 弘子

留守がちの家の庭椿真つ紅かな

田村 好子

年暮るる畑に回るやもぐら除け

高橋 ツ子

冬日さす窓辺ハイビスカス一花

鈴木 啓子

窓越しに枝ぶり強く冬木立

今村千鶴子

冬火花まばゆし親子して仰ぐ

馬場 芳

日短か一人の友に電話して

西 つる

冬至の湯脚の痛みの和らげり

吉田 愛子

朝食の冬至かぼちやの甘かりき

飯野はつ志

除夜の鐘鳴るや我家は眠りつく

山崎 才子

庭の柚子笠鉢の如黄に熟るる

梅沢きくえ

仏壇に水仙供へ良き香り

関口 侑子

白菜の虫喰ひ穴や日毎増ゆ

野口利江子

今朝の霜真白きを踏み出動す

小林 和幸

流星群毛布まとひて仰ぎけり

神田 昌美

靴下に星付け飾る聖樹かな

大竹 祐也

着込みたる胸へ吹きつけ北風

小林 一樹

白鳥の片足立ちて羽繕ひ

土屋 厚子

換気窓開き山気の冷たきよ

初雁 功子

山際の雲千切れゆき冬紅葉

山田 美子



人権シリーズ

388

『クラスの子供たちと接し、
共に学ぶ人権教育』

念願の教員になる夢を叶え、東秩父中学校という素晴らしい環境の中、もうすぐ一年が経とうとしています。毎日、「二十四の瞳」に負けないくらい真っ直ぐで純粋な三十八の瞳に囲まれながら過ごせることに感謝しています。

これまで2学年では「道徳の授業」「人権学習」「JICA講演会」などを通して、「人権」に向き合ってきました。生徒たちはそれぞれ真剣に向き合い、「人権とは何か」を考え、「自分の目から見える景色」と「世界中に広がるそれぞれの思い」とを比べていました。

私にとって「人権」とは、この生徒たちの環境を守ることです。生徒たちが日々、全力を尽くして学校生活に励む環境をつくること。生徒たちが毎日、相手を尊重し、相手を敬う気持ちを育てること。生徒たちが常に、優しい気持ちで過ごせるような言葉を交わすこと。

今、この教室には「人権」を理解し、人をいつくしむ土台ができあがっていると感じています。ならば私ができることは、「人権」について教え込むこと以上に、「その正しい思いを忘れないように継続させること」だと思っています。いつかこの校舎を旅立つ生徒たち。それぞれの進んだ先で、出会う全ての人たちに優しく接することと信じています。この環境を作ってください。た保護者の方、東秩父村の地域の方に感謝しながらこれからも、教師として「人権教育」に取り組んでいきたいと思っています。

東秩父中学校 渡邊 武

東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日時 2月17日(木) 午後1時30分～

場所 役場2階新会議室

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

